

ふくしまカーボンニュートラル実現宣言

地球温暖化による豪雨・猛暑リスクの増大、気象災害による経済・金融リスクの増大など、気候変動の問題は深刻化しています。

気候変動に関する国際枠組みであるパリ協定では、産業革命前からの平均気温の上昇を1.5℃に抑える努力を追求することとしています。

この努力目標を実現するためには、I P C C（気候変動に関する政府間パネル）報告書によれば、2050年前後に世界の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする必要があるとされています。

東日本大震災という未曾有の大災害からの復興と地方創生を進めなければならない本県においても、再生可能エネルギー先駆けの地と水素社会の実現を目指しつつ、2021年に「福島県2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。

世界で温室効果ガスの削減努力がなされない場合、2100年には県内の平均気温が4.4℃上昇すると予測され、気候変動の影響による被害を軽減する「適応」と温室効果ガス排出削減等を図る「緩和」を両輪とした対策の重要性が増しております。

持続可能な未来の福島を創るためには、あらゆる主体が今すぐに取り組むことから取り組まなければなりません。

私たちは「ふくしまカーボンニュートラル実現会議」を設立し、2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、県民、事業者、民間団体、学界、行政機関がパートナーシップを構築して、オール福島で取り組むことを宣言します。

2023年6月1日

ふくしまカーボンニュートラル実現会議